

# 千葉市感染症発生動向調査情報

2015年 第11週 (3/9-3/15) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		11週	10週	9週	8週
小児科		18	18	18	18
眼科		5	5	5	5
インフルエンザ*		28	28	28	28
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数  
下段:定点当たりの患者数  
「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市				千葉県	
		注意報	3/9-3/15	3/2-3/8	2/23-3/1	2/16-2/22	3/2-3/8
			11週	10週	9週	8週	10週
小児科	RSウイルス感染症		4	4	2	3	35
	咽頭結膜熱	◎	12	7	4	2	50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	64	68	46	53	470
	感染性胃腸炎		130	126	126	115	862
	水痘		6	8	2	4	69
	手足口病		0	0	1	1	14
	伝染性紅斑		9	7	6	11	66
	突発性発しん		7	8	7	15	47
	百日咳		0	0	0	1	0
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	0
	流行性耳下腺炎		6	6	4	3	52
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		95	89	194	198	1,200
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		2	1	2	3	20
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	1
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	1	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	1	0	0	5

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(4件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	30歳代	IGRA検査	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	男性	70歳代	病原体の検出
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	男性	60歳代	菌の検出及び薬剤耐性の確認	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	10歳未満	病原体の検出

・結核1件(39)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(3)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(10)の報告があった。

※ ()内は2015年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第11週のコメント

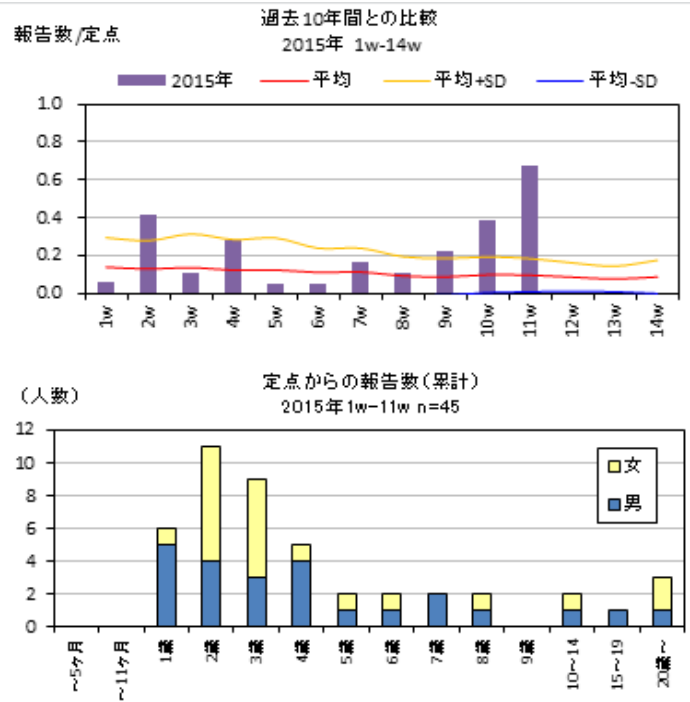
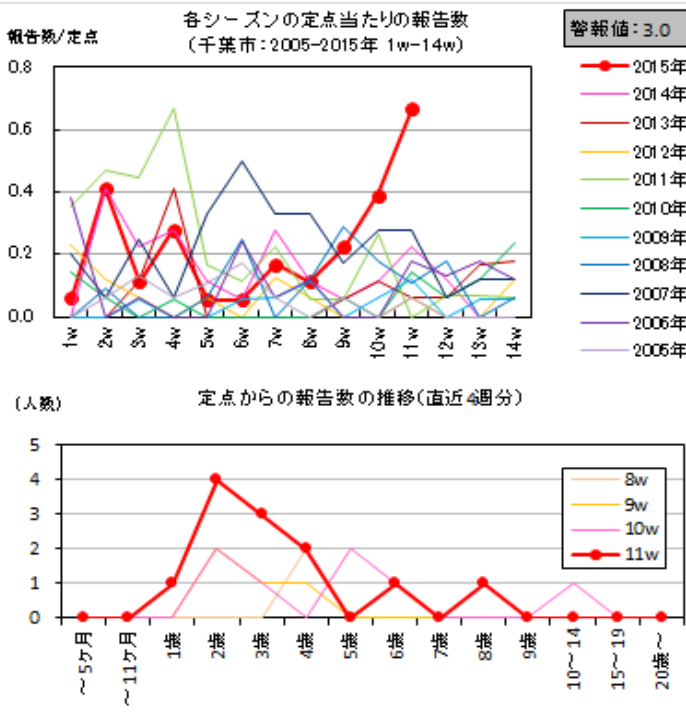
<咽頭結膜熱> 前週より増加し0.67となった。過去10年の同時期と比べると最多。

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 前週より減少し3.56となった。過去10年の同時期と比べると多い。

■ トピック ■

<咽頭結膜熱>

全国レベルの2015年第10週現在は、過去8年間の同時期と比べるとやや多めなっています。都道府県別では、山形県、新潟県、富山県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより若干多めとなっています。千葉市の2015年第11週は、前週より更に増加し0.67となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況では、花見川区(5.0/定点)で流行発生警報開始基準値(3.0/定点)を上回り最多で、同区の2歳で最も多く発生が報告されました。2015年第1週から第11週現在の累積報告数(n=45)によると、性別では男性が53.3%(24名)、女性が46.7%(21名)で、年齢階級別では2歳(24.4%:11名)、3歳(20.0%:9名)、1歳(13.3%:6名)の順に多くなっています。



<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

全国レベルの2015年第10週現在は、前週より増加し過去8年間の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、山形県、石川県、鳥取県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや多めとなっています。千葉市の2015年第11週は、前週よりやや減少し3.56となりましたが、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況では、若葉区(8.5/定点)で流行発生警報開始基準値(8.0/定点)を上回り最多で、同区の3歳で最も多く発生が報告されました。2015年第1週から第11週現在の累積報告数(n=1031)によると、性別では男性が55.0%(567名)、女性が45.0%(464名)で、年齢階級別では5歳及び6歳(共に16.1%:166名)、7歳(13.3%:137名)の順に多くなっています。

